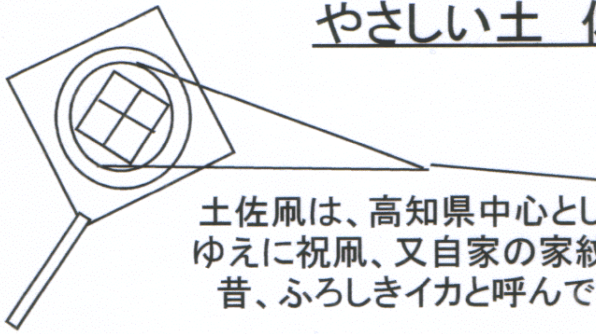


やさしい土佐 凧の作り方

日本の凧の会 大阪 2009. 10. 1改



土佐凧は、高知県中心として古くから誕生祝いとしてあげられています
ゆえに祝凧、又自家の家紋を描くことから家紋凧と呼ばれている。
昔、ふろしきイカと呼んでいました。

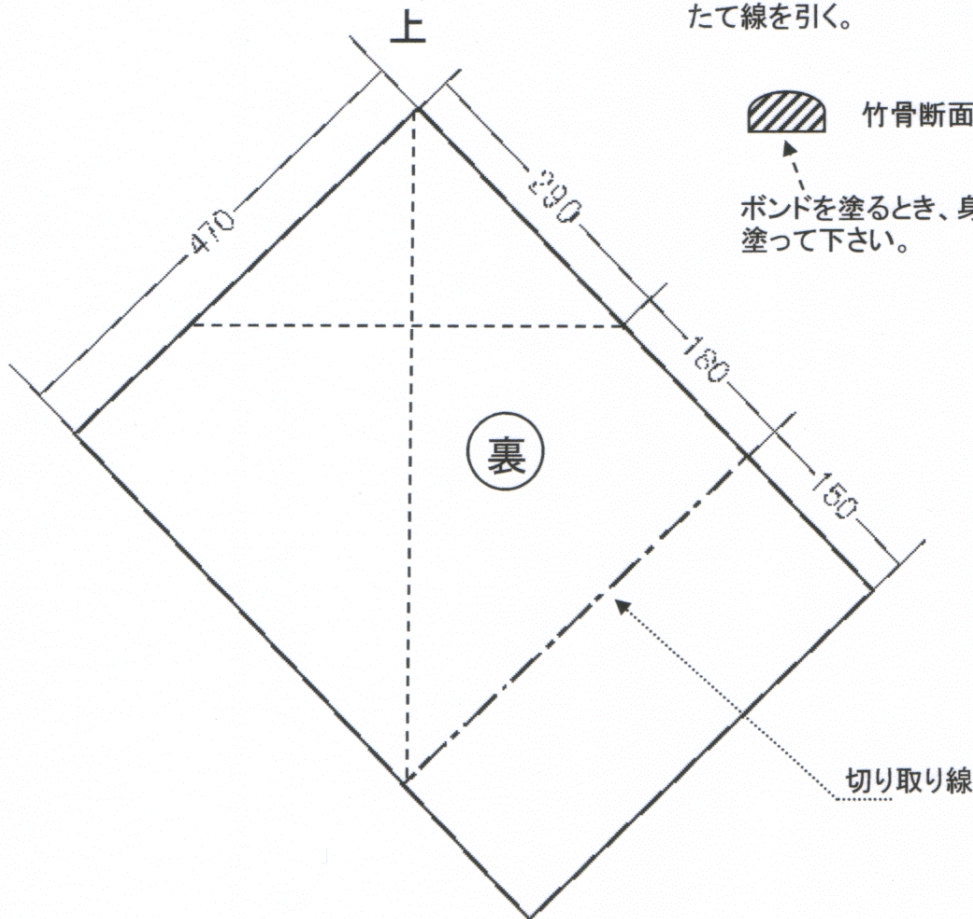
材料

道具

丈夫な和紙	470×620mm	1枚	鉛筆	ナイフ	直尺30cm以上
竹骨	たて 幅5×厚3×長700mm	1本	木工ポンド	毛糸針	はさみ
	よこ 幅5×厚2×長450mm	1本			
	ななめ 幅5×厚2×長500mm	2本			
	凧糸 1.5m	2本			

作り方

- [1] 正方形(470×470mm)に紙を切り取る。
- [2] 頂点より左右290mmの所によこ線を引く。
たて線を引く。



お願い

本テキストを使用する場合は、作成者を「日本の凧の会 大阪」と明記の上ご使用、または、当会の許可を得てください。